



志木市長 香川 武文

選ばれ続ける志木市へ！

新緑が輝き、爽やかな風を感じる季節となりました。色とりどりの鯉のぼりが空高く元気に泳いでいるいろは親水公園では、子どもたちが河川敷で思い切り遊べる「いろはプレーパーク」が5月2日(土)・3日(日)、6月6日(土)に開催され、和舟に乗船できる「いろはの渡し」の運航も5月9日(土)に予定されています。気候も良いこの季節に、ぜひいろは親水公園へ足を運んでみてください。

さて、新年度が始まってから早くも1か月が経ち、新たな環境にも慣れてきた頃でしょうか。志木市では、令和8年4月から市の10年計画である「第二次志木市将来ビジョン」がスタート。「選ばれ続ける志木市」に向け、さまざまな施策を力強く推進しています。

現在、秋ヶ瀬スポーツセンターについては、令和9年9月のリニューアルオープンに向けて、建替工事が進められています。新たな施設では、これまでの機能に加え、柔道や剣道などでも利用できる多目的ホールや町内会や地域団体の会合、市民サークルの活動にも活用できるマルチルームを整備し、地域コミュニティの拠点ともなる「秋ヶ瀬スポーツ・コミュニティセンター」としてリニューアルします。また、秋ヶ瀬総合運動場においては、テニス

コート跡地を活用し、ドッグランと利用者駐車場の設置に向けた設計も実施します。

また、市民会館及び市民体育館の新複合施設の整備についても、令和5年度に入札参加者の辞退により工事入札が中止となり、市民の皆様にご心配とご迷惑をおかけしていましたが、コストを抑えるための設計見直しについて、技術協力をいただく建設事業者として、鹿島建設株式会社と3月末に契約を締結しました。今後、施工方法の検討などの協議を重ね、令和9年度の工事着手を目指します。

さらに、目に見える建物の整備のみならず、見えない部分のインフラの保全にも力を入れていきます。具体的には、市道の陥没などによる事故を未然に防止するため、令和8年度から5か年にわたって道路下の空洞の有無を確認する調査を実施します。読売新聞の自治体アンケートでは、7割超の自治体が未実施で、自治体管理の道路での陥没事故が年間で1万件前後とも報道されていますが、志木市は平成29年、令和4年及び令和5年にも路面下空洞調査を実施し、見つかった空洞部分の対策工事を実施しています。今後も、道路や下水道といった都市インフラの安全をしっかりと確保していきます。

新庁舎や新複合施設の建設といった大型事業の実施に対して「市の財政状況は大丈夫なの？」といったご心配をいただくこともありますが、国の財源の積極的な活用や、老朽化した公共施設の再整備を見越して積み立てていた基金の活用など、全国的に工事費が高騰する中においても、着実に事業を進めるための知恵を絞っています。市民の皆様一人ひとりの笑顔が輝くまち、選ばれ続ける志木市の実現に向けて、「敢為邁往^{かんゐまいおう}」の精神を胸に、これからもあらゆる課題に対し、真正面から向き合っていきます。